

だれもが安心してよりそえる街へ

地区社協ってなんだろう???

地区社会福祉協議会とはどういう団体でしょうか。市の組織？ちょっと違います。営利団体？全然違います。今回はご紹介も含めて解説します。

Q.泉中央地区社会福祉協議会って？

泉中央地域の 6 つの自治会、七北田町内会、泉中央町内会、泉中央第一町内会、市名坂町内会、友愛町自治会、パークシティ泉中央が会費を出し合い、仙台市や泉中央地域包括支援センターから協力をいただきながら運営しています。



Q.誰が活動しているの？

各町内会より選出された福祉委員が、オレンジ色のビブスと名札を付けて活動しています。現在の代表者は、元泉中央第一町内会会長高橋喜悦さんです。



Q.どんなことをしているの？

主に高齢者向けのサロン会や子ども食堂に対して活動の助成をしたり、研修会を開催し地域の福祉に関わる活動をしています。ここ数年の研修会では「認知症とともに生きる」というテーマを追求しました。



会長の高橋喜悦さんから 月に一度委員会を開いてみなさんと話し合いながら、泉中央地区に住む方々が、寄り集まりながら安心して暮らしていけることを目指しています。今後も皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

徳利や箸置き、湯呑など大満足

泉中央第一町内会 渡邊 鉄哉

9月17日(水)に町内会の集会所で「陶芸教室鑑賞会」を開催しました。鑑賞した作品は、約3ヶ月前に実施した「陶芸教室」で、粘土を成形し焼き上がった物です。参加した方々はほとんど初心者の方で、思い思いに成形した皿、小鉢、おちょこ、花器などが出来上がり、講師の櫻井良一先生に託されたものです。焼き上がりの作品は、白い釉薬を塗られきれいに仕上がりました。



この日は、お互いの作品を見て、工夫に感心したり、櫻井さんの説明を聞いて納得したりしました。その後、お茶やお菓子が



が出て、おいしくいただきながら、感想や質問、応答などがあり、芸術の秋を満喫することができました。



交通事故のない街へ

七北田町内会 野元 三恵子

9月17日のグッパースロンは、交通安全教室を行いました。

車の運転は、高齢になるとアクセルとブレーキの踏み間違いなどの運転操作ミスや、これまでの運転歴による過信や体調不良などによる事故が多いそうです。また歩行者となった場合でも、加齢により視野が狭くなることや耳が聞こえにくくなることで、車の存在に気付かなかつたり、判断力の低下で道路を渡るタイミングが遅れたり、筋力の低下で道路を渡り終えるまでに時間がかかったりすることが交通事故につながりやすくなるそうです。



交通事故は高齢者に限ったことではありません。わたしたちはドライバーになった場合でも、歩行者になった場合でも、日頃から気をつけて交通事故のない安全な街にしていきたいですね。



■街の風～編集後記～

泉中央町内会 紺野 ますみ



田舎に住む高齢の父親は、出来なくなったことが一つずつ増えています。あんなに好きだった囲碁も、仏さまにご飯を供えることも、風呂のシャワーの使い方も少しずつ忘れていって、近頃は朝起きるのも忘れたのか朝食も取らず眠ってばかり。しかし私が仙台に戻る時には「また来てね。気を付けてね。バンザイ！バンザイ！」と玄関に出て見送ります。

家族に高齢者がいる心配は尽きません。が、泉中央地区社協で、泉中央地域包括支援センターの皆さんと認知症の研修を重ねたことが、小さな支えとなっています。マタ来マス、元気デネ。

この広報紙は福祉振興助成金を利用しています